

リカバリー あく洗いセット L&B剤

木材・白木・無垢材・フローリング等の漂白・カビ取り・シミ抜き・あく洗い 強力&簡単にできる各種セット

製品の特長

- ◆カビ・シミ・変色・日焼け・手垢・煙草のヤニ・油污れ等を速やかに漂白除去して取り除き元の美しい木材の色が蘇ります。
- ◆木材や無垢材用のあく洗いが容易にできるセットです。殺菌効果・カビ止め・日焼け止め効果もあり、衛生的に保ちます。
- ◆シックハウス症候群で原因の化学物質を一切不使用で、素材や環境、人体にも配慮されており安心です。

製品のご案内

■リカバリー(1液)

- ◆「リカバリー」…塩素系漂白剤
漂白剤単体使用なので手軽に使えます

■リカバリーセット(2液)

- ◆「リカバリー」…塩素系漂白剤
- ◆「ウッドクリーナー(B剤)」…中性洗剤
漂白剤とクリーナーの2液を混合して使用する事により性能や作業性が向上します

■あく洗いセット(3液)

- ◆「リカバリー」…塩素系漂白剤
- ◆「A剤」(リカバリー助剤)…酸素系漂白剤
- ◆「B剤」(ウッドクリーナー)…中性洗剤
3液混合して使用する事により更に強力な効果が得ます <一般の方への販売禁止品>
<購入に当たり商品受領証を提出して頂きます>

■L&B剤(1液)

- ◆「L&B剤」…強酸性漂白剤
強酸性のシミ抜き剤なのでかなり強力です
<一般の方への販売禁止品>
<購入に当たり商品受領証を提出して頂きます>

ご利用案内

◆主な用途◆

白木・材木・丸太・柱・天井・フローリング・建具・土台・長押・漆喰・Pタイル・CF・ビニールクロス・各種木質類等

◆主成分◆

- ・リカバリー = 塩素系漂白剤・他(アルカリ性)
- ・A剤(リカバリー助剤) = 酸素系漂白剤・他(酸性)…医薬用外劇物
- ・B剤(ウッドクリーナー) = 界面活性剤・他(中性)
- ・L&B剤 = 酸素系漂白剤・他(強酸性)…医薬用外毒物

◆標準使用量◆

- 1液単品 1kg=約2~3畳(3~5㎡)
- 2液セット 各1kg=約4~6畳(6~9㎡)
- 3液セット 各1kg=約6~9畳(9~14㎡)

- ◆NET◆ 各1kg/2kg/4kg/18kg



ご使用方法

- ①液が手肌・衣類・余分な箇所へ付着しないよう、作業服・ゴム手袋・防御マスクの着用や養生を必ず行って下さい。(液が少しでも付着すると素材がすぐ脱色します/皮膚への付着は大変危険ですので注意)
- ②1液の場合はそのまま、2液セット&3液セットの場合はそれぞれの液を同量ずつ混合します。原液をそのまま使用するか、水で2~10倍に希釈してご利用下さい。(必ずポリ容器を使用して下さい。金属容器の使用は厳禁です。)
- ③柱・長押・鴨居・敷居等はスポンジや刷毛を使用し、天井の場合は液が垂れないようシャンプーセット等を使用して下さい。液を付け木部表面を軽く擦りながら拭き上げ、擦り上げた箇所を水タオルですぐに拭き取って下さい。スポンジやタオルが汚れてきたら水を張ったバケツで何度も洗浄して常に綺麗な状態で使用して下さい。
- ④上記作業を何度も繰り返し漂白していきます。最後に表面を水拭きをするか水洗いして30分~60分乾燥させて完成です。



ご注意事項

- ◆喘息の方は塩素系漂白剤の使用はお勧め致しません。
- ◆素材自身の色が落ちる場合がありますのでご承知置き下さい。
- ◆混合液は1時間を過ぎると効力が無くなり、ガスも発生して保存もできません。使用分ずつ混合してご使用下さい。
- ◆混合液を容器等に入れると、発生したガスが膨張し容器が破損し大変危険ですので残存液は流水で流し処分して下さい。
- ◆臭気を発生しますので作業中は換気を十分行って下さい。
- ◆木部表面にワックス・塗料・塗装がある場合は、液が染み込まない為作業ができません。予め取り除いておいて下さい。
- ◆畳の縁や壁の部分・衣類等に液を付着させると脱色します。
- ◆液を皮膚に付着させないようご注意ください(ピリピリします)。特に「A剤」と「L&B剤」は皮膚に触れると大変危険です<厳守>
- ◆万一付着した場合は流水で十分洗い流して下さい。
- ◆液は元の容器に戻さず、他の洗剤とも混合しないで下さい。
- ◆「A剤」・「リカバリー」・「L&B剤」は開封・未開封に限らず長期保存ができません。商品到着後1ヶ月以内に使い切ってください。
- ◆特に「A剤」は常温保管を避け、ビニール袋等で梱包し、食品とは別の冷蔵庫等の冷暗所に保管して直ちにご利用下さい。
- ◆「A剤」・「L&B剤」の商品受領証提出がない場合は売買契約を取り消し掛かった経費を全額請求させて頂くのでご注意ください

■製造・販売



東洋産業株式会社

〒370-0021 群馬県高崎市西横手町 459-39

TEL 027-350-1040 / 受付:(月)~(金)9am~4pm

FAX 027-350-7200 / http://www.toyo-sangyo.com